

【益高生に身につけさせたい資質・能力】

	資質・能力・態度(まとめと)	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
① 自主性、主体性	あらゆる活動に対して、その意義・目的を考え、自主的かつ主体的に取り組む。	活動の意義・目的を知り、指示を受けながら活動できる。	活動の意義・目的を知り、指示を待たずに自発的に活動できる。	活動の意義・目的を深く理解し、指示を待たずに自発的、かつ責任をもって活動できる。	活動の意義・目的を深く理解し、それを問い直すことができる。自発的、かつ責任をもって活動し、改善を図ることができる。自分の見出した意義・目的のための新たな活動を始めることができる。
② 思考力、創造力	物事を論理的に考え、批判的思考で掘り下げ、新たな見方や考え方を提示することができる。	学んだ知識、解決すべき課題を整理することができる。	客観的根拠や知識に基づいて、論理的に考察し、自らの考えを組み立てることができる。	メディアや文献等から情報を集め、それらを整理・分析しながら、自らの考えを再構築することができる。	現実と理想の差を踏まえながら、既知の事実について批判的に考え、新たな見方や考え方を提示することができる。
③ 課題発見・解決力	客観的事実に基づいて現状の課題を発見することができる。課題を分析し、その解決に向けた自分の考えを根拠をもって構築することができる。	客観的事実に基づいて現状の課題を発見することができる。	客観的事実に基づいて現状の課題を発見することができる。また、その解決策を提案することができる。	客観的事実に基づいて現状の課題を発見することができる。課題を分析し、根拠をもって解決に向けた自分の考えを構築することができる。	客観的事実に基づいて現状の課題を発見することができる。課題を分析し、根拠をもって解決に向けた自分の考え、またその後の展望などを構築することができる。
④ 社会性、協働性	集団や他者と、立場や考え方の違いを認識しつつ積極的に関わり、協力してより良いものを創り出し、社会の発展に寄与しようとする意欲と行動力がある。	集団や他者との関わりの中で、自分の役割をきちんと果たすことができる。	集団や他者と積極的に関わり、自分の役割を見つけて取り組み、貢献することができる。	集団や他者の中で、取り組むべき共通の課題を発見し、より良いものにするために積極的に活動に取り組むことができる。	社会や集団のより良い発展のために何が必要なのかを理解し、互いの個性を尊重しながら、周囲の人たちと力を合わせて共通の目的に向かって取り組むことができる。
⑤ 粘り強さ、逞しさ	公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、課題解決のために自分の役割を見つけ、全力で取り組み、最後まであきらめず行動できる。	課題を自分のこととして捉え、行動することができる。	課題を解決するための方法について考え、計画的に行動することができる。	課題を解決する方法を考えて、自主的、計画的に行動でき、結果について評価することができる。	課題解決のために、自分の役割を果たすために全力で取り組み、結果を分析して次に活かすことができる。
⑥ 表現力、発信力	必要に応じて、自分の考えを論理的にわかりやすく相手に伝え、共感を引き出すことができる。	必要な場面で、相手に対して自分の考えを伝えることができる。	必要な場面で、自分の考えをわかりやすく、相手に伝えることができる。	必要な場面で、自分の考えをわかりやすく論理的に、相手に伝えることができる。データ、事例、ICT等も活用できる。	必要な場面で、自分の考えをわかりやすく論理的に、相手に伝え、共感を得ることができる。データ、事例、ICT等も活用できる。
⑦ マネジメント力	自分や組織での取り組みを計画性を持って進めることができる。	指示を受けて作業を実施することができる。	指示を待たず、自発的に作業を実施することができる。	スケジュールを意識し、自分自身の作業を進めるとともに、チームやメンバーで作業を分担し、実施することができる。	スケジュールやリスクを把握し、自分自身の作業を進めるとともに、対応策をチームやメンバーで確認しながら進めることができる。
⑧ 自己肯定力	自分を意味ある存在として肯定的にとらえ、失敗に臆することなく課題発見・解決に向けて全力で取り組むことができる。	自分を意味ある存在として肯定的にとらえることができる。	自分に自信をもち、集団や他者とのなかで、自分の役割を見つけることができる。また、新しい挑戦や周囲を取り巻く課題について、関心をもつことができる。	自分に自信をもち、集団や他者のなかで、自分の役割を果たそうと具体的な行動をとることができる。また、新しい挑戦や周囲を取り巻く課題について、当事者意識をもってとらえ、解決策を考えることができる。	自分に自信をもち、困難に直面しても、失敗をおそれることなく、解決に向けた具体的な取り組みができる。また、失敗した場合にもその経験を糧とすることができる。